

■ 編集委員長 就任挨拶

尾崎 正明

OZAKI Masaaki

(公社)全国上下水道コンサルタント協会
専務理事



JSTT (一社)日本非開削技術協会の機関誌「No-Dig Today」108号より編集委員長を務める尾崎です。長年、編集委員長を務められた前・石川委員長に敬意を表すとともに、編集委員会一員として読者の皆様に本誌をお届けすることを光栄に思います。

さて、多くの社会インフラが建設から維持管理の時代となり、そのサービス水準を維持するためアセットマネジメントの取り組みが進んでいます。具体的には、維持管理での点検・調査結果をフィードバックし、計画的に改築を行うことが求められます。

近年、維持管理分野では、包括的民間委託をはじめとするPPP官民連携が注目されています。下水道に関しては、処理施設やポンプ場に関する業務が先行していますが、今後は管路施設に関する業務も拡大する

ことが想定されます。

管路施設においてPPPの取り組みが進むことで、様々な現場において小口径から大口径の施設について、修繕・更生・改築に関するニーズが高まり、新たな技術開発・導入による非開削技術の発展が期待されます。

続いて、自己紹介をさせていただきます。平成27年7月に(公社)全国上下水道コンサルタント協会の専務理事となり、5年目を迎えました。その前は、国土技術政策総合研究所に比較的長くお世話になり、主に下水道資源の利用に関する調査研究に携わりました。

下水道資源の利用には、汚泥の嫌気性消化によるメタンガス利用、汚泥から製造する建設資材などがあります。これら都市活動に起因する熱やエネルギー等の資源を収集するため、管路施設は都市システムの貴重な資産と認識しています。

また、東日本大震災、熊本地震、局地的豪雨により被災した下水道施設の災害時支援も経験し、防災・減災の取り組みの重要性を感じました。非開削技術を活用した管路システムの修繕・改築が国土強靱化に貢献することを祈念します。

■ JSTT 事務所の大掃除

夏季恒例となりましたJSTT事務室の大掃除を行いました。溜まっていた不要な書類、書籍類、家電などを整理。軽トラック1台分程度の不用品を廃棄し、会員の皆さまをお迎えするスペースを綺麗にしました。

お近くにお越しの際はぜひ事務所へお立ち寄りください。



編集委員

(敬称略・五十音順)

浅井 岳春

ASAI Takeharu

オリジナル設計(株)
水インフラ本部下水道部技術一課係長



津野 和宏

TSUNO Kazuhiro

国士館大学理工学部理工学科
まちづくり学系教授



植木 貴幸

UEKI Takayuki

(株)奥村組
土木本部土木営業部営業推進課長



中川 慶太

NAKAGAWA Keita

(公財)水道技術研究センター
管路技術部長



小川 仁

OGAWA Hitoshi

芦森工業(株) 機能製品事業本部
機能製品営業総括部バルテム営業部マネージャー



長島 隆幸

NAGASHIMA Takayuki

(株)三水コンサルタント
東日本事業本部東日本事業部事業部長



越智 茂

OCHI Shigeru

管清工業(株)
管理本部広報課長



並木 豊

NAMIKI Yutaka

NTT インフラネット(株)
東日本事業本部アーバンデザインセンタ技術担当



河西 一嘉

KAWANISHI Kazuyoshi

(株)協和エクシオ
土木事業本部土木営業部門課長代理



橋本 好弘

HASHIMOTO Yoshihiro

積水化学工業(株)
環境・ライフラインカンパニー管路更生事業部部長



鈴木 敬一

SUZUKI Keichi

川崎地質(株)
戦略企画本部技術企画部課長



人見 隆

HITOMI Takashi

中川ヒューム管工業(株)
常務執行役員技術営業部長



諏訪田 浩明

SUWADA Hiroaki

東京電力パワーグリッド(株)
工務部流通土木グループ運営チームリーダー



森 治郎

MORI Jiro

アイレック技建(株)
非開削推進事業本部営業部長

